

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆

近藤龍弘

〒940-0052

長岡市神田町1丁目4番10

TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆

小林国二・高橋潔・室賀清輝

高橋利春・屋代健・飯泉隆史

近藤マリ子・近藤真弘・近藤善信

後援・株式会社アサヒ

印刷・(株)北越時報社

『夢』

翠巖 弘

今年の長岡の正月は、小雪で雪の心配もしくなくてよいと安心しておりましたが、一月下旬から次々と記録的寒波に見舞われました。市内の消雪パイプに使う地下水も減り水の出も悪くなり、雪はもう勘弁してくれ、などの嘆きの声が多く聞かれました。

安善寺において、同じで、駐車場の雪の始末に追われたり、本堂の大屋根からの落雪を溶かすべき消雪用の水も出ななくなり、季刊紙六ページの写真のよ

うに屋根に落雪が繋がってしまい、何度も切り離す雪作務に追われる有り様でした。

地球の、自然界の営みにとってはちよつとしたことでも、人間に与える影響は計り知れないものと思ひ知らされましたが、雪国の人々にとっては冬の厳しさの分だけ、春の喜びも大きいものがあると思ひます。

どの意味があります。オリンピック、色々な競技の世界選手権を目指すアスリート、甲子園を目指す高校球児や某大学、某会社入社、職人、政治家、芸術等々、夢をもって努力している人が大勢おられます。全ての人が何かしらの夢や希望をもっておると思ひます。



上にある写真の掛け軸は、平成七年十月に、副住職の得度の師匠であられた長野市の、故・藤本幸邦御老師が、中国に学校新築に力を注がれ、その開校式に行かれた時、妻も同行させていただき、書道展示会で「夢」の字が目にとり、記念に求めたものです。

夢というと眠っている時に見る夢もありますが、はかない頼みがたいもの、のたとえ、空想的な願望、心のまよい等の他、将来実現したい願ひ・理想な

私も今後、老年期を迎えての「夢」は何かと、寺の雪庭、掛け軸の夢を観ながら、寂かに思惟したいと思ひます。

ご家族の皆さままでご覧ください

【日々精進(四十)】

雪国ならではのひととの触れ合い

近藤真弘

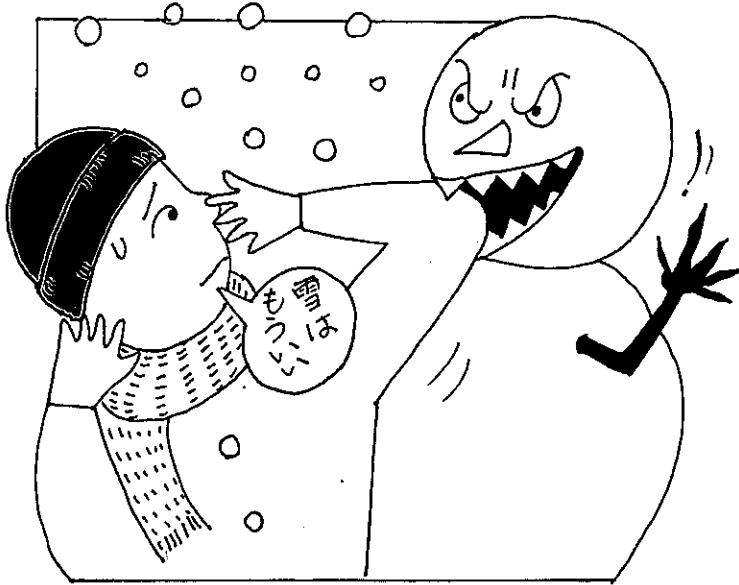
今年はず想以上の大雪でそれぞれ皆様もご難儀だったことかと存じます。お寺も駐車場や本堂の前など雪掻きに追われる日々でした。毎朝起きて外

を確認するドキドキ感も久々に味わいました。街に出ると景色もいつもと違います。除雪機で寄せられた雪は道の両側に壁を作り、信号での右

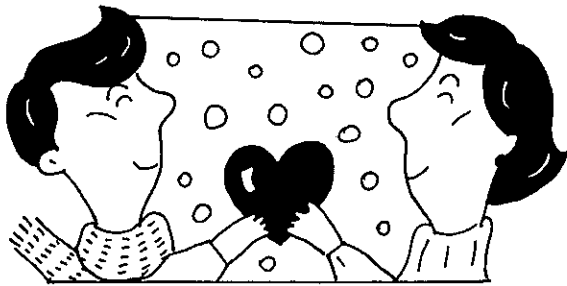
左折には雪の壁で専用レーンが出来上がっています。普段広い道路も半分に成り二車線の道路もまるで一方通行、目的地にはいつもの倍の時間がかかる始末です。

長男の真人は登校班の集合場所に向かう途中歩道が雪山になり前に進めず半歩そで戻ってきたこともありました。

大雪が降れば大変なこととは沢山あります。ただそれによって普段ない出来事も起こります。例えば車での移動の際、雪で狭まった道で対向車が来れば避けれる場所待機します。すれ違いざまにはお互いに頭を下げてお礼します。譲り合いの光景が街中で見られるのも雪国ならではです。



また、外で雪掻きしていると近所の方との触れ合いもあります。妻は兵庫の雪の無い地域の出ですが、今年は一ときわ頑張ってくれて、駐車場を借りている方とも顔なじみになり、お互いを励ます言葉も交わされました。



これも雪国ではよくある光景ですが自宅前の雪掻きの際、目の前の車道にスコップで雪を投げます。その雪を車が踏んで融雪の手助けになります。結婚した当初妻は走る車めがけて雪を投げる光景に驚いていましたが、これも雪国ならではの助け合いの様子です。

修証義に「愛語」と「同事」という教えがありますが、まさに雪により、互いの苦しみを共有「同事」



し、お互いに慈しみの心を持ち自然といたわる言葉「愛語」が発せられます。雪国で暮らすからには雪と向き合い共存しなければいけません。今年は例年なかった大雪で雪の大変さを改めて実感しましたが、それ以上に雪国ならではの触れ合いの有難さを感じることが出来ました。

雪が多く大変だった分、雪解け春の訪れが待ち遠しくもあります。

所有者不明土地を無くしましょう

高橋 利春

最近の話題として少子高齢化が進み、空き家対策をどうしようかという話と、所有者不明土地が多くなってきた大変だという話があるがどうしたら良いかという話をさせていただければと思います。

空き家対策としては、親の家は子供が継いで行くというのが一番良い訳ですが、どうしても空き家になる。ということである古い建物をリフォームして割安に若者に提供していただければ子育てもし易くなると思います。古くなりすぎてリフォームも出来ないとなれば、取り壊して土地の有効利用するのも良いと思います。そうすれば空き家とならない訳ですが、場所が悪く財産価値も無いということになると、

所有者が亡くなり相続人がその不動産を相続する時、価値も無いからいらぬ、相続登記するのも面倒だ、お金もかかるのでそのままにしておこう、ということになると大変です。空き家・空き地となるわけです。

子供が健在ならまだ連絡もなんとか付けられそうですが、それが2代目、3代目となったら相続人の数が増えて尚大変です。そうなるから相続登記をしようと思っても、全員協議承諾印も難しく、所有者不明土地となつてゆくのです。

地に掛かる、ということになると大変です。その土地を買収しようと登記簿を調べても相当以前に亡くなった人の名義で子供達もどこにいるか分からない、となると調べるのが大変です。今度は個人情報保護法が調査を妨げることになり、多くの月日が必要となり事業が遅れることとなります。

所有者不明土地とは、相続等の登記をしつかりとしていない土地、持ち主と連絡出来ない土地のことです。街の中でも隣接土地がそうなる大変です。自分の土地を売買するにも境界杭を入れ、測量図を作るにも隣接者の立会が必要となりますが、所有者不明土地では出来ません。それで国も新法案の骨子

を次のようにまとめ対応しようとしております。

- ・所有者不明の空き地に5年以上の利用権を設定し、公園など公益性のある事業目的に使えるようにする。
- ・国や地方自治体が公共事業用地として取得するための調査手続を簡素化する。

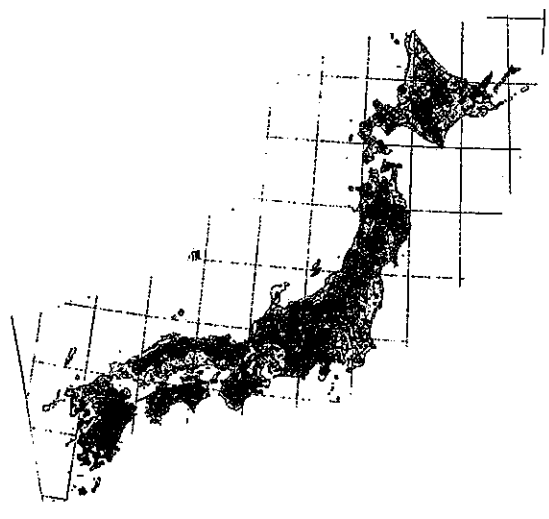
・所有者が見つからなかった場合は都道府県知事の判断で公有化を決定する。などを考えているようです。

先日は先代の建物をリフォームして売りたいのですが調べたら建物が登記していませんので登記して下さい。というお客様がいて登記したのですが亡くなった親が建てた建物の為、所有権証明書等が古い話になると難しく書類も無い。工事人等

も分からない、誰も証明してくれない人も居ない、等で大変苦労しました。建物も自分で新築したり、増築した時は必ず登記をするということをお薦めします。

また、隣接者が地元に戻るつもりはないので隣地を買ってくれないかと言われ、本当に安く買わせてもらったので登記手続き費用は全て自分の方で支払うのでしつかり登記して下さい、というお客様もいました。本当に自分達が要らないのなら隣接者に格安で譲るのも1つの方法だと思えます。

とにかく自分の権利を守るため、そしてみんなに迷惑を掛けないという国民の義務を果たすため、不動産の登記は相続等変更があつたらその都度しつかりと登記をしていく、ということが重要です。そして所有者不明土地は無くしていきましょう。

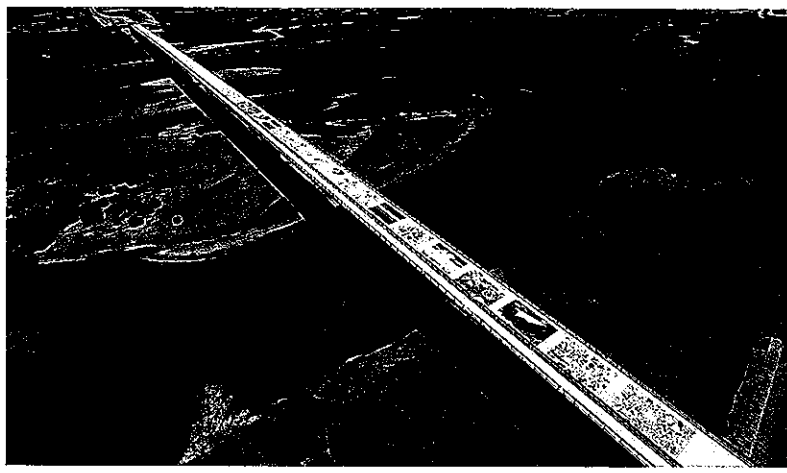


まぼろしの大花火大橋

櫻井カツエ

「先生、長岡大橋、大手大橋、長生橋、次は大花火大橋ですよ。なんでフェニックスになったんでしょね？ フェニックスはプールもあるでしょ、フェニックス大手ですよ。日本中使っているんですよ。大花火を売りにしているんだから、大花火大橋と命名すれば、第一、地図にも載るでしょう。山の花火と云われている片貝の人達も喜んでくれるし、さすが花火の町だつて。それでね先生、大花火大橋を渡ると大花火音頭が流れるなんて粋な事をすれば、それだけでも観光、観光と全国に発信が出来るんですよ」と、私がペラペラ喋ると、橋の命名募集に携わったのは僕ですよ、と先生は私の話を途中で遮った。

「大花火大橋とフェニ



ックスが最後まで残ったんだよね。「大花火」櫻井さんだったの……」「そうなんです。大花火大橋を渡ると北島三郎、サブちゃんの大花火音頭が流れる！名物になるでしょう。ま

ず、どこにもないんですから、ワクワクするでしょう？」と、また私がたたみかけると、困惑しながら「そう……、フェニックスね。子供の応募だったんだよね。だから……」先生

は最後まで大花火かフェニックスと悩んだけど、子供に子供に負けたんだけだ。世の中、子供に気を使い過ぎなんですよ、と云おうと思つたが言葉を飲み込んだ。自分も子供には負けそうなのがするか

らだ。私が長岡に越して来たのは昭和46年。その時すでに西と東を結ぶ橋を実現させよう、ニュータワーブリッジという看板がついていました。あれから四十年余り。ようやく橋が完成したのは平成25年です。

先日、市会議員さんが来店された時、橋の命名の話をする。「それは残念だったね。櫻井さん、名付け親になれたのにね」「何を云っているんですか。私は名前云々ではないんですよ。全国に発信するのだから地方色豊かな名前を付けたかった。こんなビッグチャンスはなかったのに、チャンスを活かす事が出来なかった。その事が残念だったんです。名付け親なんてケチな話ではないんです。そ



うだね、と議員さんは一言云つて立ち去つた。湯沢町沢下条で『ほたる焼き』を作っている。あの美味しいほたる焼きを食べたいなど考えていると、ひよつこりと現れる人がいる。10個も買ったらどつしりする。あんなことクリームが入って凄く美味しい。ありがどう。今食べたいと思つていたところ。ほたる焼きがいぶん売れてるんだつてね、と云いながらみんな集まって来る。早速食べながら、大花

火大橋の話をする。「火館ではなく、フェニックス館にしたら」とニヤリ……。その人の名は中静さん。若い時は漆使いの名人と云われた。さすが中さん。一を聞いて十を知るか。私の心の答えを出して帰つた。その後、命名で話が盛り、東側大花火大橋、西側フェニックス大橋など、優しい答えを出し話が盛り上がりに、ホッと温かく豊かな気持ちになったひと時でした。

「おかあさん」ありがとう

妻と暮らした四十七年

平林 國利

昭和四十五年、高田がスタートでした。五回の転勤で昭和五十七年十一月、十か所目の住まいがマイホーム生活、三十五年間。都合四十七年間の夫婦生活でした。

昭和四十七年八月、生後三か月の長男を抱えて大阪に転勤。子育ての相談は直江津の実母が頼りでしたから、電話代が大変でした。その後、長岡を経て昭和五十一年二月から長野での生活が始まりました。ほどなく、貴女の妊娠が判明し、入院することになり、長男と私は私の実家（長野県千曲市）にお世話になりました。十月、長女と次女が誕生し、家族五人となりました。そして、五十三年から四年間の新潟での生活をを経て、長岡に再び転勤となつ



たのを機会に自宅を建てました。長男は十歳、長女と次女は六歳でした。それまでの社宅生活と異なり、近所づきあいもある生活、今にして思えば何かと大変だったでしょうね。でも、貴女は愚痴・泣き言を言わず、私に相談することもありませんでした。ね。

平成二十七年七月、私が職を辞すまで転勤・転職はありましたが自宅通勤で貴女にお世話いただきました。大変、有難うございました。平成十六年十月の中越地震では自宅が半壊となり、翌、十七年に漸く改修できるまでは大変でした。ね。

平成二十三年十月から貴女は敬愛する実母を我が家に引き取り、一身に引き受け、生き生きと過ごしていました。『何もいらない。思いつきり、お母ちゃんにの面倒を見てあげたい』との一念でした。ね。本当に、献身的にお母ちゃんをお世話していました。ね。充実していた時期だったですね。

しかし、平成二十六年三月、貴女は腰椎の圧迫骨折を発症し、敬愛する実母のお世話も不能になり、骨粗鬆の治療も始まり定期的に整形外科に通院しておりました。

翌、平成二十七年五月、整形外科の先生から内科医の受診を奨められ明日にもと予定していたところ、実母逝去の知らせがあり、通夜・告別式を済ませました。平成十六年十月の内科医の診察を受けました。結果、脾臓に悪性腫瘍が見つかり、手術不能・延命治療（化学療法）ということ、入院となり、六

月から治療が始まり、退院しました。

退院後、二回の通院治療を受けましたが、治療後の苦痛が激しいことから、延命治療を中止することにしました。担当医から私の気持ちを尋ねられ「本人の意思を尊重します」と返答しました。

それからは、概ね、四週間の間隔で定期的な受診し、発熱・腹痛の発症時には外来受診し容態に応じて入院し、内視鏡措置をしてもらい、自宅での生活に戻るとの繰り返しとなりました。本人は何よりも「苦しみたくない」ことが第一義でしたので、担当医にはビハラー病棟のある病院への紹介状をお願いしました。延命治療中止の一方、薦めてくれる方があり、サプリメントを服用することにしました。結果的には、このサプリメントは担当医が効能を認めるほどに容態が安定しました。特に、翌年の四月から十一

月までは発熱・腹痛の発症もなく定期受診が続きました。この安定期には、「千秋が原ふるさとの森」、「長岡造形大学構内」、「東山ファミリールランド」などに景色や草花・紅葉を愛でながらウォーキングポールを使って散策を楽しみました。

昨年の八月からは、七月の内視鏡措置が効き、「食べ歩き」を楽しむことができました。最後の外食が四十七回目の結婚記念日となりました。十一月一日、最後はと決めていたビハラー病棟入院七日で天国に旅立ちました。

思い返せば、各病院の先生を始め、看護師さん、相談室の皆さんには本当に親身になってご心配をしてくださりました。真に有難うございました。闘病、二年五カ月あまり「お疲れさま。安らかにおやすみください。永い間、お世話いただきありがとうございます。ありがとうございました」（合掌）

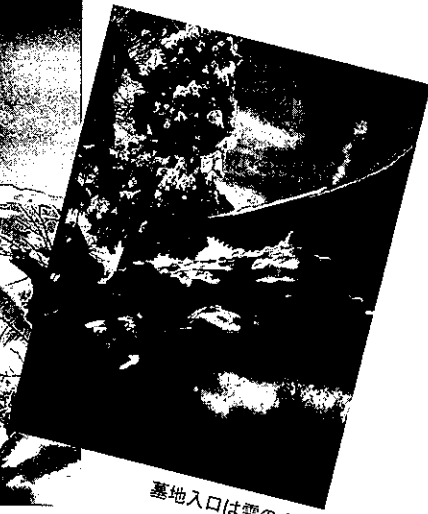
大雪で様変わりした安善寺境内



墓地も雪で覆われて



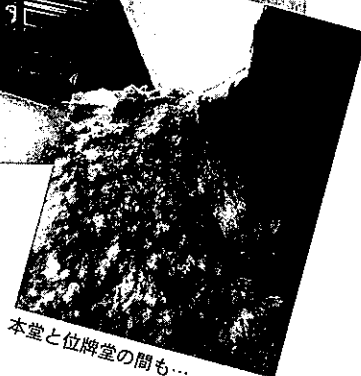
落雪が屋根まで届く



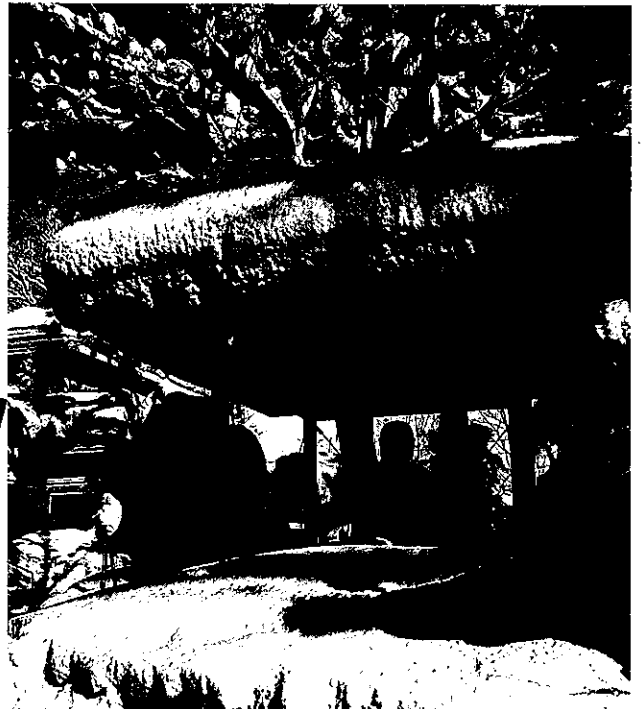
墓地入口は雪の山



初午もやむなく本堂で



本堂と位牌堂の間も...



お地蔵様も寒そうです

不相應げうに相應し、相應に相應せず、實義を捨てて可愛を執取する人は自ら相應。する人を妬む 『法句経』

副住職 通信

第26回

KAKA笑の会は
『精進料理を楽しむ会』

講師の折橋さんは副住職の傍らフレンチレストランのシェフをされています。一風変わった精進料理をお楽しみいただけます。

第26回 KAKA笑の会

平成三十年五月十一日(金) 十八時

精進料理を楽しむ会

定員七十名 定費七千円

会場 安曇寺大講堂

主催 安曇寺KAKA笑の会

奥座席(でんき) 19,800円
前座席(でんき) 17,800円
後座席(でんき) 15,800円
全席(でんき) 13,800円

全席(でんき) 13,800円

主催 安曇寺KAKA笑の会

大本山永平寺参拝と能登の旅

能登寺・大本山越前寺・福徳寺めぐり

このたびは安曇寺では、大本山永平寺参拝と能登の旅を企画しました。各拝観料は各自の持ち出しで、是非参加下さい。お申し込みは、お申し込み下さい。

○ 期日 平成30年6月7日(木)～9日(土) (2泊3日)

○ 旅費 59,000円也 ○ 申込金 10,000円 (旅費充当)

○ 人数 40名様 ○ 切 平成30年4月末日

山代温泉 山のくに天祥寺	山代温泉 山のくに天祥寺	山代温泉 山のくに天祥寺	山代温泉 山のくに天祥寺	山代温泉 山のくに天祥寺
福徳寺	福徳寺	福徳寺	福徳寺	福徳寺
能登寺	能登寺	能登寺	能登寺	能登寺
大本山永平寺	大本山永平寺	大本山永平寺	大本山永平寺	大本山永平寺
安曇寺	安曇寺	安曇寺	安曇寺	安曇寺

『大本山永平寺参拝と能登の旅ご案内』

すでにご案内させていただいている安曇寺団参旅行です。北陸の名刹・古刹を巡り、名湯につかりゆつくりと心と身体を癒して頂けたらと存じます。まだまだお申し込みをお待ちしています。

『映画製作の報告』

以前ご案内しました全国曹洞宗青年会製作の映画『典座』(TENZO)の特報映像が完成しました。



全国曹洞宗青年会

受け継がれし典座のZENを、今、世界へ

青年僧による短編映画 二〇一八年十月完成予定

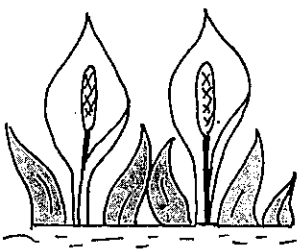
典座

— TENZO —

全国曹洞宗青年会HP「般若」
又はYouTube「典座」で検索するとご覧いただけます。

旅立ち

- 平成二十九年十二月末
平成三十年二月末日まで
- 齋藤 トミ様
平成二十九年十二月廿一日寂
 - 長岡市西神田
 - 小林 綾子様
平成三十年一月十日寂
 - 神奈川県横浜市
 - 村山ハナイ様
一月二十日寂
 - 長岡市花園東
 - 金口 タエ様
一月廿一日寂
 - 新潟市中央区
 - 中澤 三男様
一月廿一日寂
 - 長岡市高見町
 - 河野 キク様
二月廿七日寂
 - 長岡市天神町
- ご冥福をお祈りします。



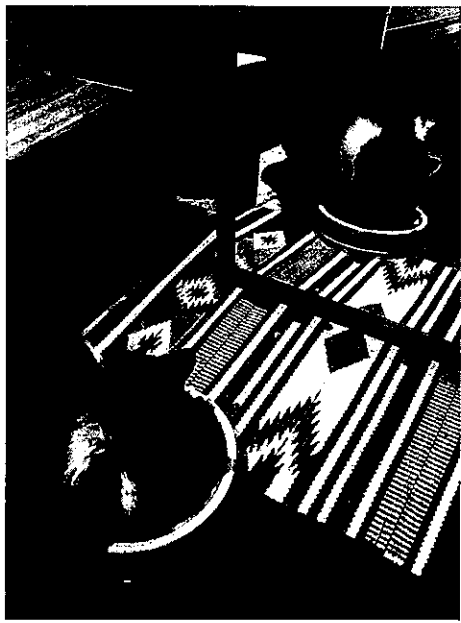
ボブの独り言

たくましくなりました!

ボブの独り言

賑やかで、穏やかな成年の始まりでしたが、年末年始を過ごした皆が帰る一月三日は暴風の日になり、空に、海にと、みんな大変な思いをして、それぞれ家に辿りついたようです。でも大勢で、賑やかに新しい年を迎える事ができるのは、幸せなことですね!

お年始でお寺に来られた方々の中にも「お盆とお正月は、大勢なんですよー



賑やかで良いですてー!」何人くらいですか?」「今年には二十人位だったかなー子供の友達なんかも来てー」そんな会話が客間の方から聞こえてきました。人が集える家は良いですねー。

お正月、モモちゃん、ドックホテルに預かってもらっているの、私も安心して下に行くことができます。そうすると「ボブ

ー久しぶり、又、コロッとしたんじゃない?」「なんて! 久々にみんなに声をかけてもらえたり、みんなの顔もみられたり、私も本当に嬉しい年明けでした。

一月も十日を過ぎた頃から、雪・ゆき・ユキで何でこんな降るんだろ? って雪のない所が羨ましいくらい、毎日、毎日止むことも知らずに降り続けているのです。そんな中、真人君もいつもと同じ時間に雪を踏んで、約三十分もかかる雪道を歩いての登下校です。四月に泣きながら行っていた姿を思い出すと、本当にたくましくなりました。

たくましいと言えば、久美さん。雪が降り始めた頃から、どうしたの

しょうか? この雪のなか、毎日、毎日、スノーダンプを持って外に出ていき、何時間も雪掻きをしているのです。バナナ一本で何時間も...。雪国育ちでもないのに、関西生まれの関西育ち...。なのにです。どんよりとした空をみているより、雪が降っている方が好きです。

お彼岸の頃は、どれくらい雪解けが進んでいるのでしょうか? お檀家の方が作って下さった、可愛い前掛けをかけてもらったお地藏様が雪解けのお墓にお参りする方々を迎えていることでしょうか。

ニヤーン

その後、スピードスケート女子500mの小平

お彼岸の頃は、どれくらい雪解けが進んでいるのでしょうか? お檀家の方が作って下さった、可愛い前掛けをかけてもらったお地藏様が雪解けのお墓にお参りする方々を迎えていることでしょうか。

ニヤーン

その後、スピードスケート女子500mの小平

その後、スピードスケート女子500mの小平

その後、スピードスケート女子500mの小平

編集 今話題は、平昌
雑感 オリンピック! 毎日のようにメダルの報道があり、日本中が沸いています。冬季オリンピックでは過去最高のメダル数の長野オリンピックの10個を超えました。(最終結果は13個) フィギュアスケートでは、羽生選手が、ケガから復活しての金メダル! 昨年11月の練習中に足の靭帯を痛めて、その後の大会に出場出来ず、日本中が心配していました。そんな状況の中の前回のソチオリンピックに続いての2連覇は凄いいしありません。

選手、女子チームパシユート高木選手達と金メダルが続きました。

選手の見聞を聞いてみると共通な言葉が出てきます。自分を支えてくれた家族、スタッフ、知人に感謝、感謝の言葉です。

オリンピックまでの4年間、上手いかない時、調子が悪い時、ケガをした時など、様々な苦難があったと思いますが、その時に廻りの人達から支えられて、心身ともに強くなっていたのでしよう...

最終的にメダルをいくつ取るか楽しみです。2年後の東京オリンピックも待ち遠しいです!

PS: 先日、愛娘の菜々子がバトントワリング選手権北陸大会に出場して、見事2種目で全国大会に出場することになりました。来月、名古屋に行つて親バカになって応援して、味噌カツを沢山食べてきたいと思えます。

屋代 健

第八十二号、夏号は平成三十年七月九日(月)発刊予定です

無名を希望し、作意して怠らず、心諸欲に拘礙せられざれば、後は上流と名づけらる。「法句経」